

【 社 会 】「個々の問題の出題の意図及びその正答率」

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			県の正答率	学校の正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	資料活用・表現	知識・理解		
地理的分野	1	1	1	地図を活用して、緯度や経度、面積、形、方位など、地図の特色を考え、面積の正しい地図を判断することができる。	○			74.5	
		2	2	地図の経線や子午線を活用して、明石とバクダッドとの時差を考え、地図上の都市の標準時のちがいを判断することができる。	○			55.9	
		3	3	地図から日本の位置や領域について読み取ることができる。	○			82.7	
	2	1	4	資料（表）の数値や円グラフに表された割合を正しく読み取ることができる。	○			70.9	
		2	5	統計資料を活用して、岐阜県内各地域の農業の特色について考え、判断することができる。	○			74.1	
	3	1	6	地図上の八方位について正しく理解している。			○	64.7	
		2	7	地形図に表された等高線が示す高さについて正しく理解している。			○	77.8	
		3	8	土地利用や施設等の地図記号について正しく理解している。			○	70.8	
		4	9	縮尺と2点間の直線距離をもとに、実際の距離を計算し、求めることができる。	○			65.1	
	4	1	10	与えられた情報をもとに、方位、地図記号を活用して、略地図に書き表すことができる。	○			37.3	
歴史的分野	5	1	11	平城京を都とした時代が奈良時代であることを理解している。			○	62.9	
		2	12	安土桃山時代に活躍した織田信長による天下統一事業について理解している。			○	90.4	
		3	13	御成敗式目が武家社会で果たした役割について考え、判断することができる。	○			72.9	
	6	1	14	江戸幕府が開かれた場所を、地図上に正しく示すことができる。			○	55.9	
		5	15	各時代の東アジアの状況について地図を活用して考え、判断することができる。	○			66.9	
		6	16	文章の内容と地図を活用して、コロンブスがアメリカ大陸を発見した際の航路を選択することができる。	○			50.4	
		7	17	年表や資料を活用して、歴史の大きな流れについて考え、判断することができる。	○			74.0	
	6	1	18	文化の資料や説明した文を活用して、特色をとらえることができる。			○	84.7	
		2	19	奈良時代の文化にかかわる人物である鑑真の業績を理解している。			○	80.3	
		3	20	複数の資料を活用して、豊臣秀吉が行った検地と刀狩が当時の社会へ及ぼした影響について、「兵農分離」というキーワードをもとに考え判断することができる。	○			43.4	